

破天荒

教宣部

5040号

2018年
4月12日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合

2018 春闘 4次団交

春闘集約

ベースアップ検討出来ない

昨日、春闘で四回目の団体交渉を行いました。会長を説得する気も無い労務担当では「こちらで限界です。妥結の方向とします。会社の思つ壺なのかも知れませんが、何れしつぺ返しを食いますよと捨て台詞は言いました。」

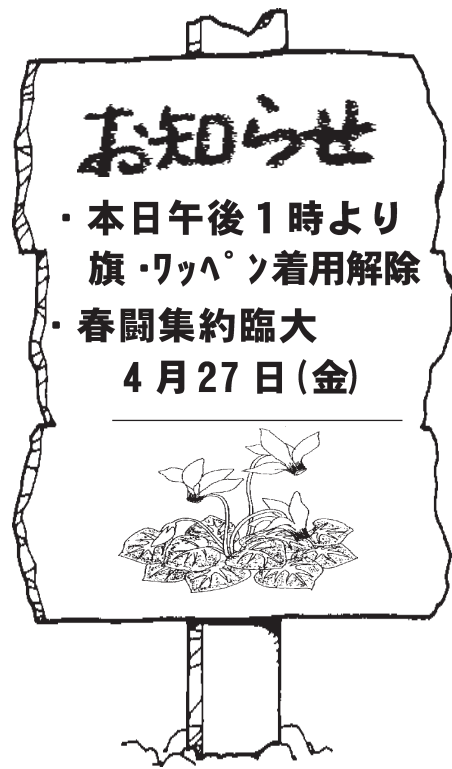
就業規則の件

育児・介護休業についてはグループ共通規則で協定の方向で進めるそうです。甲種嘱託社員就業規則についてはグループ共通規則であるが、法改訂などで変えたい時に変えられなくなるので協定化はできないとのことでした。なんじゃそれ。

甲種嘱託社員就業規則は十年ほど前、吉田顧問と組合との間で協定化の方向で

進めていきましたが組合が意見書を書かない方針としたため宙ぶらりんの状態で監督署に届けることもしていませんでした。今回、会社に協力して組合は意見書を書きました。「悪く変えることはない」「あくまで法改定に沿った変更が今後あり得る」ので協定できないとされています。

二年前、電子・システム・オプトの就業規則が二十年前ぶりに開示されたわけですが、従業員代表を傀儡して選出したオプトの就業規則は長期傷病欠勤に「梅毒」が含まれていたり、当日欠勤する場合は午前十時までに届け出なければならぬとか、四十年前の文言が復活したりしていました。



お知らせ

- ・本日午後1時より旗・ワッペン着用解除
- ・春闘集約臨大 4月27日(金)



グループ共通の就業規則と言いつつ、監督署に届け出た就業規則がこんな状態



態では組合として「悪いようにはしない」の言葉すら信用するわけにはいきません。悪いようにしないのであれば議事録なり覚え書きなり文書として協定することを申し入れました。

ベースアップ

電子にせよシステムにせよ今が全社一丸とならなければいけない大切な次期です。

ただ、やり方として部門長や社長の言うことに従えば全社一丸となってコンピュータが正常化するとす

みんなが少しずつ悪い

見渡せば犯人捜し「俺は悪くない」「あいつが悪い」の自己保身ばかり。

電子のコンピュータシステムの混乱にせよ、客先とのトラブルにせよそんなばっかり。

犯人を捜すことはそんなに必要ですか？不具合をどう解決させるかが一番大切で、全社一丸となって解決しようとは思わないのだから？

少しずつ悪いのは「見て見ぬ

る会社と、困ったことがあつたら助けてほしい。横の繋がりで問題解決したい。情報を公開してもらいたいとする組合の全社一丸とは異なるモノでした。

人員増

会社は人手不足であれば補充していきたくしていませんが、良い人材はこのご時世、集まらないそうです。勤続五年の無期雇用も施行されましたが竹中では契約・嘱託社員の身分や給与は同じままです。五年も続けられる・実務をこなせる社員には今辞められたら会社として困るので正社員化するような制度を作ってはどうか？とも提案しました

モチベーション

確実に今の職場はギクシャクし、無表情・失敗隠し・逆ギレ・責任逃れが横行しています。

賃上げや制度改善、そういったモノが「頑張った報酬」だと従業員の希望だと思つたのですが、会社は「君だけに」ってのが好きなようです。

ふりをする人」もそう、不具合解決に積極的に参加しない人もそう、(不具合に対して)一番悪いのは会長・社長ということにすれば良いのに、会長・社長は人格者で天皇だみたいな発想が(竹中)にはあるから、自分の首を絞めているとは思わないのだからか。

仕事ひとつにしてもそう、失敗は隠すモノではなく共有することを通じて全体のレベルを上

げることが出来る。隠した自分の失敗を後輩が同じように犯したとして言いふらして何が楽しいですか？成功だつてそう、肝心なところも隠さず共有することを通じてレベルを上げることが出来る。「それだけではない」とか「色々あります」なんて言う野郎は箇条書きにして一つずつ説明できるはずなのにやれない。やらない(多分ソレは成功でも失敗でもない層だから)